

## 神大法曹会の人々

### 神大ロー生の作った法律事務所

— SKY 総合法律事務所訪問記 —

弁護士 新開 崇弘 川村 宜禎 横山 朗

(横浜弁護士会 SKY 総合法律事務所)

(神大ロー1期既修コース出身 新60期)

聞き手：向川純平（神大ロー3期未修 新63期 横浜弁護士会）・石森加奈子（同2期未修 新63期 横浜弁護士会）・片岡敦司（同3期未修 新63期 横浜弁護士会）

向川 今日、神大ロー第1期卒業生のお三方が開設したSKY 総合法律事務所を訪問させていただき、ついでに、お三方にざっくりばらんに話を聞こうと思っています。それではよろしくお願いします。

新開・川村・横山 よろしくお願いします。

石森 さきほど、事務所の中をおおむね見せてもらいましたが、広々としてとても綺麗ですね。事務所の開所はいつごろですか？

横山 平成22年9月1日です。

新開 事務所は、平成22年8月に借りました。

川村 9月1日の開設まで1か月間、準備する予定だったのですが、仕事と併行しながらの作業でなかなか準備が進まず、開業時には電話とFAXがあるくらいの状態でした。その後、アスクルで備品や什器を購入したり、パーティションの工事をして仕事ができる体制を徐々に整えていきました。キャビネットは、私が前に在籍していた事務所の先輩弁護士から譲り受けたものです。

横山 事務員さんの机もいただいた物です。執務机は、イケアに行って購入した物を組み立てて使っています。



新開 弁護士

新開 そういうわけで、9月の段階では、段ボール箱だけが合った状態で、事務所開設の準備に追われていました。開設後も、いろいろ後で気づくことがあって、電源が壁にしかないことに気づいて、電源を増設する工事をしたりしていました。そんな感じで10月ころから本格的に仕事を始めた感じです。今は、仕事のペースはできてきましたね。

片岡 3人で事務所を開こうという話はいつころあったのですか？

新開 ロースクール時代ですね。

横山 神大ローでは、3人とも同じ自主ゼミを組んでいました。ゼミの合間にご飯を皆で食べているときに、将来東急東横線の武蔵小杉駅近辺でやろうという話が出ました。

川村 もともとは、私がロースクールのエクスターンシップで川崎の事務所に配属されて、そのときに、川崎は横浜地裁、横浜地裁川崎支



川村弁護士

部、東京地裁立川支部への交通の便が良く、まだまだ弁護士の需要があるだろうと感じたのがきっかけでした。ただ、川崎支部も弁護士が増えて、現在は150人を超えています。

**新開** 横浜弁護士会、川崎支部でやるということには異論がなかったです。

**川村** それで、最初は予定通り武蔵小杉で開業しようとしたのですが、結局は川崎で開業することになりました。

**新開** 武蔵小杉では良い物件が見つからなかったということが1つあります。それから、地元の企業法務に取り組むことを考えた場合、武蔵小杉よりも、川崎の方が利便性がよいと考えました。これが川崎で開業した理由です。

**横山** 神大にはカリキュラムにコースがあり、新開さんと川村さんは、企業コースでした。地元の中小企業法務をやりたいというのは、ここにルーツがあるかもしれませんね。

**石森** 3人は、もともといた事務所でどんな仕事をされていたのですか？

**川村** 企業法務、知財、一般民事です。今の事務所では、個人的には企業法務もやりたいですし、他にもいろいろやりたいと思っています。企業法務をやるためには、弁護士が1人では限界があることも、3人で開業しようと思った理由の一つです。

**横山** 私は東京にいたときは、事件の90%くらいが、私的整理や民事再生を利用した企業

再生でした。あとは、まれに一般の企業法務です。

**向川** 離婚や相続などの一般民事事件は、川崎に来てから担当するようになったのですね。

**横山** そうですね。

**向川** 川村さんも同じですか？

**川村** 私の場合は、事務所で一般民事もやっていたし、個人事件でそういうのをやったりしていました。大きな企業の企業法務等、東京の事務所ならではの経験が出来たのは、東京で働いて良かったと思います。

**新開** 私は、前にいた事務所では一般民事が中心でしたが、あと行政側の行政事件や、不動産賃貸の管理等の事件を取り扱っていました。

**片岡** 弁護士会の委員会などには参加されているのですか？

**川村** 私は、子どもの権利委員会の委員です。多くの少年事件に取り組んでいます。大人相手の仕事が多い中、少年と接することで非常に勉強になることもあります。これからもライフワークみたいな感じで、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

**横山** 私は、国際交流委員会です。同委員会では、韓国や中国の弁護士会と協同セミナーの開催などを行っています。

**新開** 私は弁護士業務改革委員会と法科大学院支援委員会に所属しています。3人とも、それぞれが関心を持っている分野を中心に、委員会活動にも積極的に参加しています。

**向川** 3人には、それぞれ事件の担当や役割分担があるのですか？

**川村** 事務所の仕事は、全弁護士で受任するようにしています。また、単に名前を連ねるだけではなく、事案の難易度に従い、複数の弁護士で実際に打ち合わせ、法廷活動などを行っています。それぞれ前の事務所にいたときの経験が違うので、一人では方針を悩むような事案でも、それぞれの経験を活かして対処することができ、うまくいっているのではないかと思います。

**新開** 3人がそれぞれ異なった経験を持って

いますので、基本的にはみんなで相談しながら事件の方針を決めています。3人で話し合うと、意外と方針が違ったりすることもあり、事件記録を皆で回し読みしながら検討を加えています。だから、事務所の執務室は、机のついたてなしでやっています。大学の自主ゼミと同じですかね。最後まで話し合っ、合意のうえで事件を進めています。

横山 誰か1人でもロースクールでの時間を共有していない人がいたら、事務所運営のやり方もちょっと違ったかもしれません。

向川 これはいい話を聞きましたね。

石森 ロースクールで築いた人間関係が事務所経営に活かされているんですね。

---

石森 事務所名の「SKY」はどうやって決まったのですか？

新開 それぞれが色々な提案をしたのですが、なかなか3人で一致するに至らず、それぞれの頭文字をとって「SKY」という案が残りました。

石森 読みは「エス ケー ワイ」ですか？

新開 いえ「スカイ」と読みます。

川村 どちらの読みにするか迷いましたが、呼びやすいということで、最終的にスカイにしました。

新開 エスケーワイだとスーパーケーワイになってしまいますからね(笑)。

向川 他の候補は、何があったのでしょうか？

横山 クローバーのマークをロゴにして、「よつば総合法律事務所」という案がありました。3人と依頼者が一緒になって頑張るという気持ちから考えたのですが、ちょっと企業法務にも取り組んでいるイメージに欠けるのではないかという意見があって、不採用になりました。

川村 あと、他に使われていない表記の事務所名が良いだろうという話もありました。カタカナでスカイを使った事務所はありますが、アルファベットのSKYを使った事務所はないの



横山弁護士

で、この名前に決まったというわけです。

片岡 これから事務所は大きくされるのですか？

新開 3人で具体的な話をしたことはありません。ただ、将来的には、弁護士法人にして支店を出したいとも考えています。

横山 将来のことは、まだどうなるかわかりませんね。

川村 最終的には、高層のオフィスビルに移りたいという野望はあります(笑)。

新開 そういえば、法律事務所というのは厄介に思われているのか、なかなか契約してくれるところがなく難儀しました。

横山 いずれにせよ、今は同期3人で、皆で話し合いながら、事務所を運営するように心掛けています。

---

片岡 ロースクール時代、お三方はどのように過ごされていたのですか？

新開 私たち3人を含む4人のメンバーで、「ケースブック行政法」に掲載された判例を全部原文でプリントアウトして、一つの判例を一枚のレジュメに要約し、更に試験用の論証にするという内容のゼミがありました。

川村 それと、みんなで朝7時に大学に来て、論文試験の問題1問を必ず答案に作成していました。笈川先生の添削を受けたこともありました。厳しい採点で現実を直視したことを覚えて

います。

横山 他に、旧司法試験には行政法が科目になかったので、某予備校が出版している公務員試験の問題集を買ってきて、その答案構成をみんなで書くというゼミもしていました。それが終わってから「法学教室」という受験用雑誌の巻末にある問題演習をつぶしていった記憶があります。

新開 私は、前の事務所の所長が行政側の代理人をしていたので、複数の行政事件を担当していました。神大ローのゼミで判例をたくさんつぶして、最高裁がこんな判決を書いているのだという蓄積があったので、行政法がらみの起案をするときに助かっていましたね。

石森 行政法は、何やっていいかわからない時代ですからね。

川村 あと会社法も。私たちが3年生のときに、ちょうど商法第2編が改正されて会社法が制定されたのです。

横山 商法は……たしか17問くらい答案を書いていますね。当時作成した答案のデータがまだ残っています。

川村 このゼミは4人でやっていたのですが、そのうち3人が1回目の新司法試験に合格し、残りの1人も翌年合格しましたので、非常に有意義なゼミだったと思います。

向川 皆さんが在籍していたとき、神大ローの授業はどんな感じでしたか？ 以前、間部先生が担当されていた「刑事実務」についてのお話を聞いたことがあります。

新開 「刑事実務」という科目は、文字通り刑事手続の実務の講義でしたが、神大ロー第1期の授業では、被疑者段階の勾留決定に対する準抗告から、判決の起案まで、刑事手続の中で必要な書面を全部起案するというものでした。事件も1つだけではなく、複数ありました。

川村 実務家がどのように書面を書くのか、参考にする書式が少なかったので、起案するのはとても大変でした。

横山 それでも、自分たちで考えて全部起案

していました。このようなハードなことを刑事実務でやっていたので、合格後、司法修習にいてこれらの書面を起案することになっても、怖くはありませんでした。そういう意味では後に役に立った授業でした。

新開 でも徹夜しながら起案したこともあって、受験勉強との兼ね合いから考えてみても、大変だったことは間違いありません。ただ、文句を言うときは全部終わってからというのが礼儀だと思いましたが、間部先生には、刑事実務の授業が全部終わってから抗議に行きました(笑)。

川村 我々のときは、刑事実務の他にもレポート課題が多くてきつかったです。提出しても次のレポートの締め切りがすぐに来て、レポートに追われる毎日でした。

横山 神大ロー設立1年目だったので、先生全員が張り切ってレポート出していましたからね。

新開 レポート課題は、実務にも試験にも役立つものもあれば、疑問符がつくものもありました。それでも、まずは終わらせていましたね。

石森 試験勉強に本腰を入れて取り組み始めたのはいつ頃ですか？

川村 試験勉強を意識して始めたのは、2年生の後半からですかね。

横山 私は3年生になってからです。

新開 横山さんはバイトしながら勉強していましたからね。

向川 横山さんは、どんなときでも、それこそお酒を飲んで帰っても、毎日1通の答案を書いていたという伝説が伝わっています。

新開 答案を書きすぎたために、右手が腱鞘炎になって、左手で答案書いていましたよね。右利きが左利きになってしまったとか。

横山 今はもう左手で字を書くことはできませんが、他のことはだいたい左手でやれますね(笑)。

片岡 みなさんは1日にどれくらいの時間勉強していたのですか？

川村 1期既修生の大半は、朝から晩まで自習室で勉強していましたよ。合格してから他の学校の話聞いて、神大の自習室の環境は非常に恵まれていると思いました。

横山 楽しみは休憩の合間に行くコンビニくらいしかないから、コンビニのシールを集めて食器をもらったり、ペットボトルのおまけの虫とか恐竜とか、チョコQとかをみんなで集めていました。

新聞 それくらい自習室に来ていましたね。コンビニの食べ物は、冷凍食品も含めて全て食べ尽くしました。

横山 神大ローの自習室に来て勉強するのが合格の秘訣だと思います。神大の後輩たちも自習室に来て勉強を頑張ってもらいたいですね。

石森、片岡、向川 今日はありがとうございました。

(了)

